#### 白川あかり茶の湯の会

# 地域の隠れた景観の発見とMAP作りプロジェクト(疏水分線編)

京都の「茶の湯」文化を活用して、 歴史的な景観の重層性など場所の持つ物語を伝えることで、 地域の景観を再発見してもらう取り組みを行なっています。



今年度の活動地域:疏水分線(第一疏水出口)

- ・かつての水運による京都の入り口
- 様々なものの流れを感じてもらう

水:取水口から水が大量に流れる音

風:盆地である京都から東山を抜ける日岡峠

人:疏水トンネルを抜けて開ける京都の風景

物:物資が運送された船溜りとインクライン

## ①青空喫茶による景観鑑賞プログラム(2020年10月3日、4日)





建築を学ぶ学生と、京都で活動する茶人や大学茶道部の学生のコラボレーションで、茶の湯を体験しながら景観を鑑賞していただくプログラムを実施。今年度はCOVID-19対策として亭主と客の対面を避ける茶室を設置しました。

#### ②場所の特徴を感じるインスタレーションプログラム(2020年10月3日)





まちづくりを学ぶ学生が、場所の特徴や歴 史を調べ、その魅力を来訪者に伝えるイン スタレーションを企画。芸術祭ニュイ・ブ ランシュ京都の一プログラムとして疏水分 線の特徴である「流れ」を表現するあかり と竹風鈴を活用した作品を展示しました。

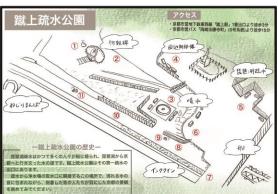
## 「景観を見ながらのお茶の一服」を促す散策マップの作成

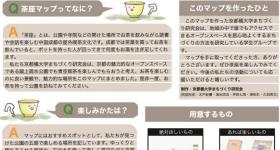
色を眺めてみてください。その後、公園を歩きながらあなた



①、②の活動や追跡調査を通して疏 水分水エリアで足を止めて景観を眺 めて欲しいスポットを発見し、「景 観を見ながらのお茶の一服」を促す 散策マップを作成しました。

(作成:京都橘大学学生有志)





近隣の公共施設への配架をお願いす るほか、COVID-19が落ち着いた時 期を待って参加体験型の景観鑑賞プ ログラムの実施に活用する予定です。